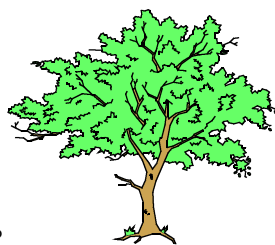


瀬戸中だより 5月

令和6年5月17日
発行 瀬戸中学校
校長 近藤 太

～自然を感じる爽やかな季節に～

5月の爽やかな風が心地よく、山々の木々や街路樹には、柔かな新芽が顔を出しキラキラと輝く、美しい季節となりました。木々の葉の色だけでなく、空を飛び交う鳥のさえずりやたくさんの虫たちが元気に動き出す姿もたくさん見られるようになりました。暦の上では、もう夏の始まりとなり季節の移り行く速さに驚くばかりです。



ゴールデンウィーク中の各部活動の生徒たちは、春の選手権大会（卓球・バレー・柔道）やリーグ戦（野球）など忙しい日々を過ごしました。1年生も部活動の見学・体験期間を終え、正式に入部となりました。気温も上がっていますので、徐々に体を慣らしながら、努力を積み重ね、生き生きとした表情で学校生活を送ってほしいと願っています。

PTA参観授業実施 ご参加ありがとうございました！



4月20日（土）にPTA参観授業・PTA総会・学年部会を開催したところ、多くの保護者のみなさまにご参加いただきました。参観授業ではそれぞれの学級で、趣向を凝らした授業が行われましたが、活発に発表をする姿がたくさん見られました。見守られているという安心感が、学習意欲の喚起につながっています。授業後の総会や学年部会にも多くの方が残ってくださり、議事も大変スムーズに進行し、心より感謝しております。今年も、様々な教育活動を展開してまいりますので、保護者の皆さまにおかれましても、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

鳴門シーガル病院の歴史を学び、小渦会春季運動会へ参加



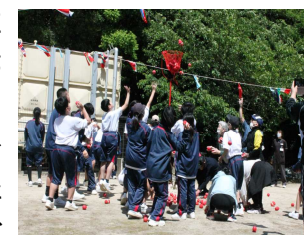
4月30日（火）に1年生は総合的な学習の時間を活用し、鳴門シーガル病院の成り立ちについて学びました。並木理事長より創設時の理念として、障がい者や生活弱者の方々のために当時の神職や地域の方が浄財を集めて開設したのが阿波井島病院（現鳴門シーガル病院）であることや、地域において福祉・医療事業に取り組んでいることも教えていただきました。



この授業を受けて、5月11日（土）には小渦会春季運動会に参加しました。新型コロナウイルス感染症の影響で数年間途絶えていましたが、ようやく交流ができるようになりました。ラジオ体操から始まり、玉入れ、パン食い競走、阿波踊りなどほとんどの競技に1年生が参加して盛り上げました。抽選会では豪華な賞品を当てた生徒もあり、終始笑顔いっぱい、入所者の方々と一緒に楽しい時間を過ごすことができました。理解を深めることができました。

〔生徒の感想より〕

- 人と人との交流の場で、コミュニケーションの大切さをとくに学びました。これからの中学校生活でも人を思いやる気持ちを大切にしようと思います。
- 緊張したけれど優しくしてくれたので楽しめました。車いすを動かすとき「動きますね」や「止まりますね」と言えて良かったです。おばあちゃんたちも楽しめたかな？来年も行きたくなるくらい楽しかったです。



1年生交通安全教室実施 交通事故ゼロをめざす！



4月19日（金）に新入生対象の交通安全教室を実施しました。今年度も瀬戸町の安全を守る会のみなさまや鳴門警察署、鳴門市役所の協力を得て、実施することができました。

中学生になると登下校以外にも自転車を運転する機会が多くなります。子どもの交通事故の特徴は、交差点での安全確認が不十分なことや一時停止をしなかったことが原因のようです。また、発生場所も自宅から500メートル以内の道路で起きていることが多いようです。生徒のみなさんは、このような機会を通じて、交通ルール・マナーについて考え、正しい判断とルールを守ることの大切さを理解してください。そして、常に「命を守る行動をとること」を意識して生活していきましょう。



資源ごみ回収実施～ご協力ありがとうございました～



今年度1回目の資源ごみ回収を、5月11日（土）に実施しました。地域や保護者の方々のご協力により、本当にたくさんの資源ごみが集まりました。当日はすべての生徒や先生方が協力してトラックへの積み込み作業等を行いましたが、みんなが汗だくになるほどの量でした。皆さま方のご厚意で得られた資金は、生徒会の活動資金として大切に使用させていただきます。ありがとうございました。